

療育・支援の理念		①内在する力を引き出し最大限に発揮しようとする心とからだを育て、円満な人格を形成すると共に、将来の社会生活を目指して生活面・社会面における支援を行う ②子どもとその家族等へ手厚い支援を行う ③障害への理解を深め、多様な人を受容する共生社会がつけられることを目指す				
療育・支援の方針		一人ひとりの子どもを療育的な視点から指導する (ここでいう「指導」とは、一人ひとりの子どもの方向性を指し示し、その方向性に向かって子どもを導くことを意味する)				
療育・支援の目標		大人や子ども同士の関りを楽しみに、自分の思い・自分らしさを表しながら興味や意欲を育て、主体的に活動する。 一人ひとりの力を発揮し、大人や友だちと「今、ここ」を共有する中で関りを広げ「次への思い」に繋げていき、自己を肯定し期待する。				
営業時間		10:00～18:00		送迎実施の有無	迎え:あり、送り:なし ※地域によっては保護者の送迎	
療育・支援の内容		5 領域との関連	一人ひとりの違いを尊重したうえで大切にしたい療育・支援の視点、関わる上での視点			具体的なプログラム例
本人支援	全体像・ADL	健康・生活	・基本的な生活スキルを身につけることを支える ・身体を十分に動かす機会をつくり、心身のコンディションの整えや情動調整を支える ・構造化を意識した環境設定の下、適応的な姿を引き出すことを支える			身支度、手洗い、調理、おやつタイム コンビニでの買い物 体育館、外遊び、自転車、夏季プール
		人間関係・社会性	・応答的なやり取りを大切にし、気持ちを受け止められながら、信頼関係を築くことを支える ・友だちに興味や関心を示し、関わろうとすることを支える ・自己主張し、大人や友だちに受容されながら、気持ちを調整することを支える			グループあそび、玩具 リラックスタイム
	真似る動き遊び	運動・感覚 認知・行動	・安心できる環境下で、興味のあるものを見つけて自発的な、または主体的な遊び・過ごしを支える ・活動等を通して得られる自己の感覚に気付き、適応的な行動や状況を認知しようとする調整力を支える ・認知の偏りや感覚等を理解される中で適切な行動形成を図り、将来の自己理解に向けた歩みを支える			工作、季節の設定物作り 体育館、外遊び、自転車、夏季プール
		言語 コミュニケーション	・自分を分かってもらえることに安堵し、自分なりの主体をもって周りへの意識を育むことを支える ・自分を尊重されることを実感する中で、相手の感情に気付くことを支える ・集団活動に伴うルールや、友だち同士のやり取りの中で出会う折り合い・葛藤等との向き合いを支える			ボードゲーム、カードゲーム タブレット（ゲーム、動画視聴） グループあそび、玩具
家族支援		保護者とのつながりを大切にし、ニーズを把握し支える ⇒帰宅時の伝達・情報共有、日常生活に関する相談援助、個別面談		職員の質の向上に資する 取り組み	支援後の振り返りと翌日のSV、新人研修、人権擁護・虐待防止研修、BCP研修、係会、クラスミーティング、サポーターズカレッジ、外部研修への参加	
移行支援		保護者や学校等と繋がり、ライフステージや将来を見据えた支援、進路等に関する相談援助、学校でのケース会議等		主な行事等	毎月：誕生会、避難訓練 サタデー倶楽部：里山あそび、手打ちうどん作り、夏季プール、ブドウ狩り、湯河原ハイキング、バーベキューなど 季節：進級、七夕、ハロウィン、クリスマス、節分、卒業	
地域支援 地域連携		関係機関との連携・地域社会への参加を図り、支える ⇒秦野市幼稚園巡回相談、秦野市子ども部門放デイ事業所連絡会、市内他放デイ事業所との合同プログラム				